

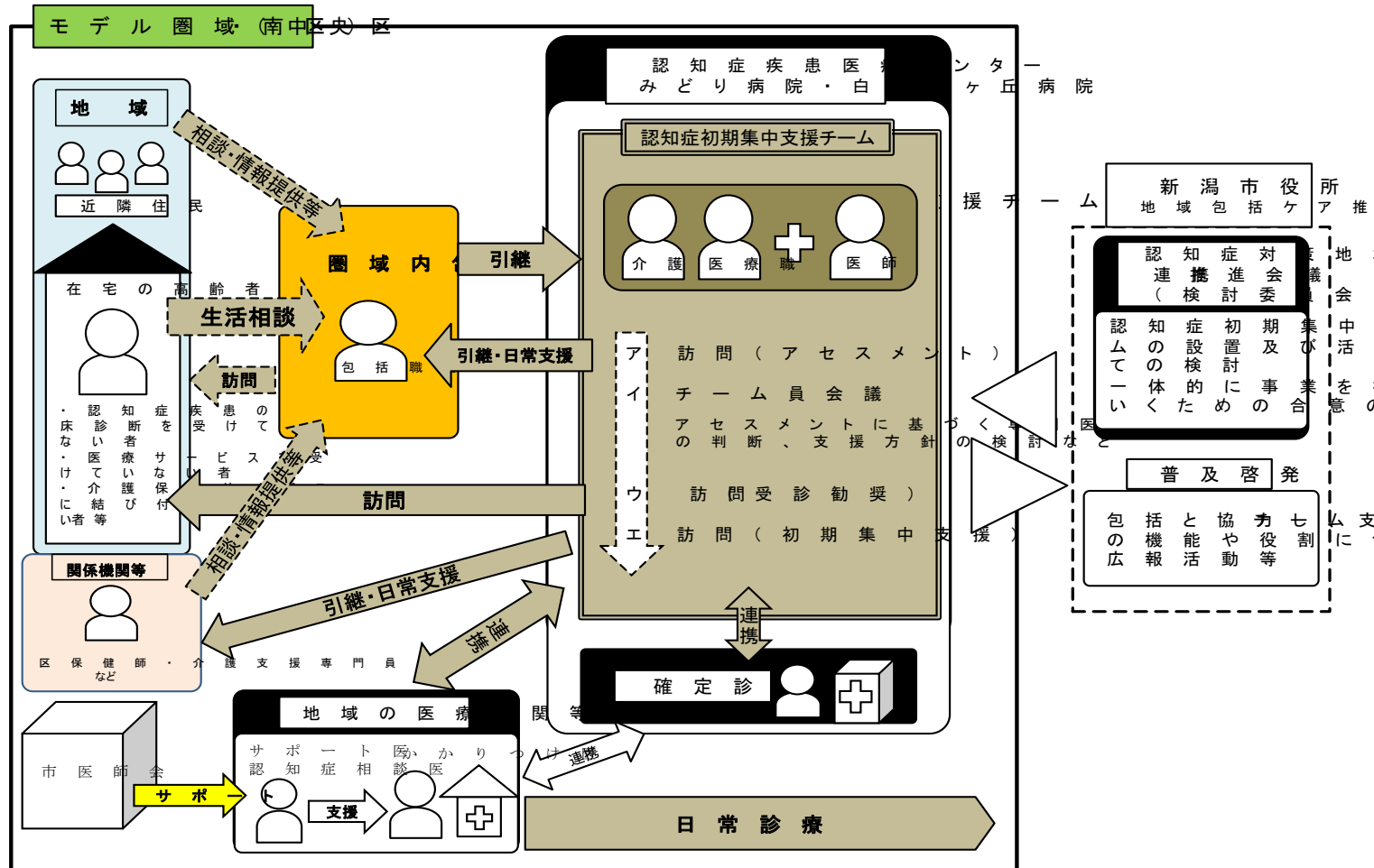
事業目的

- 「認知症になっても本人の意思が尊重され、できる限り住み慣れた地域のよい環境で暮らし続けることができる社会」を実現するため、適切な支援につながっていない認知症の方を早期発見・早期診断・早期支援に結びつけることを目標とする。
- この目標を達成するため、認知症初期集中支援チームを認知症疾患医療センターに配置し、中央区・南区をモデル区として認知症の方を支援するネットワークを活用し、本事業の広報・普及啓発及び初期集中支援業務等を実施することによって、認知症の方を適切な支援機関に結びつける取り組みを進める。
- この取り組みをもって、ネットワークの早期発見・早期診断・早期支援機能が機能し、認知症の方を支援する地域の体制を構築することを目的とする。

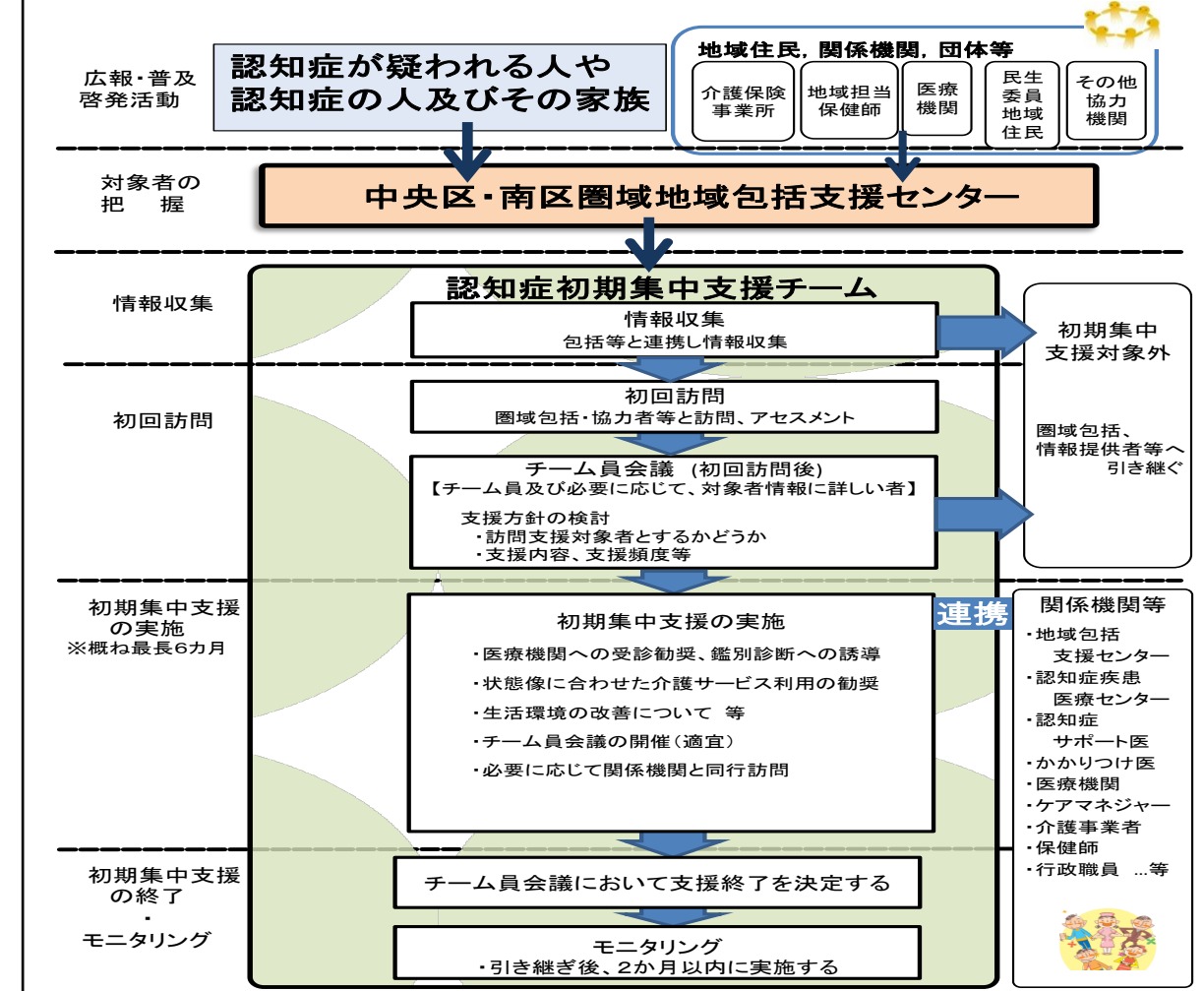
事業概要

- 【モデル事業目的】 平成27年度モデル事業を実施するにあたり、一連の業務流れ・システムがスムーズに稼働するのかが検証することが主目的となる。
- 【実施期間】 平成28年1月1日～平成28年3月31日
- 【事業実施区】 中央区（地域包括支援センター圏域 関屋白新・ふなえ・宮浦東新潟・姥ヶ山）
南区（地域包括支援センター圏域 あじかた・しろね北・しろね南）
- 【事業受託法人】 ・認知症疾患医療センター 総合リハビリテーションセンターみどり病院
・認知症疾患医療センター 白根緑ヶ丘病院
- 【チーム設置場所】 ・総合リハビリテーションセンターみどり病院
・白根緑ヶ丘病院
- 【チーム体制】 ・総合リハビリテーションセンターみどり病院 ⇒ 医療職：保健師・看護師・精神保健福祉士・作業療法士
（専門医2名＋専門職9名） 介護職：社会福祉士・介護福祉士 ※チーム構成員として臨床心理士1名
・白根緑ヶ丘病院 ⇒ 医療職：看護師・精神保健福祉士
（専門医1名＋専門職3名） 介護職：社会福祉士
- 【支援対象想定数】 ・総合リハビリテーションセンターみどり病院 ⇒ 18件（1月より、各包括2件 計8件を支援開始予定）
・白根緑ヶ丘病院 ⇒ 7件（1月より、全数を支援開始予定）

事業概念図



業務の流れ



※モニタリング(引継ぎ)終了後も、相談助言は随時対応